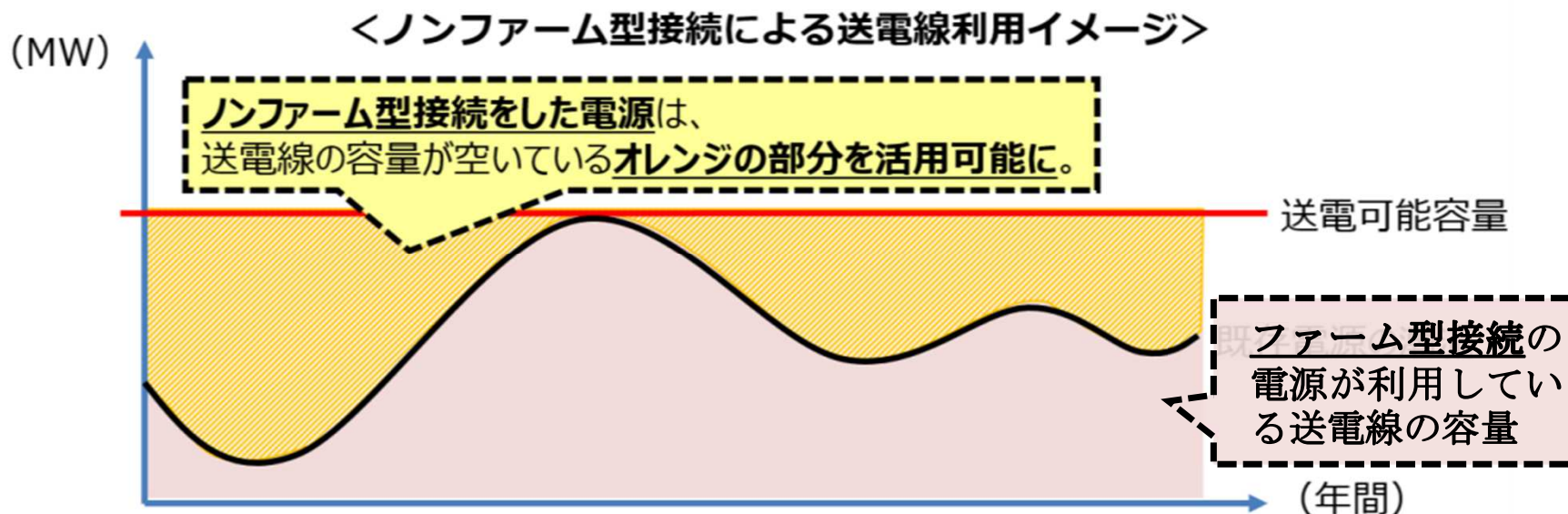


「ノンファーム型接続」について（参考）

【ノンファーム型接続】

- ・送電線などの送変電設備の空いている容量を活用し、新しい電源をつなぐ方法をノンファーム型接続といいます
- ・ノンファーム型接続では、送変電設備の空いている容量（下図：オレンジの部分）を活用することから、送変電設備の事故や故障などがない平常時であっても、空いている容量に合わせて、出力制御を行います
- ・平常時に発電するために必要な容量が確保されている（Firm：ファーム）従来の接続方式をファーム型接続と呼んでいます。一方、必要な容量が確保されていない（non-firm：ノンファーム）接続方式をノンファーム型接続と呼んでいます



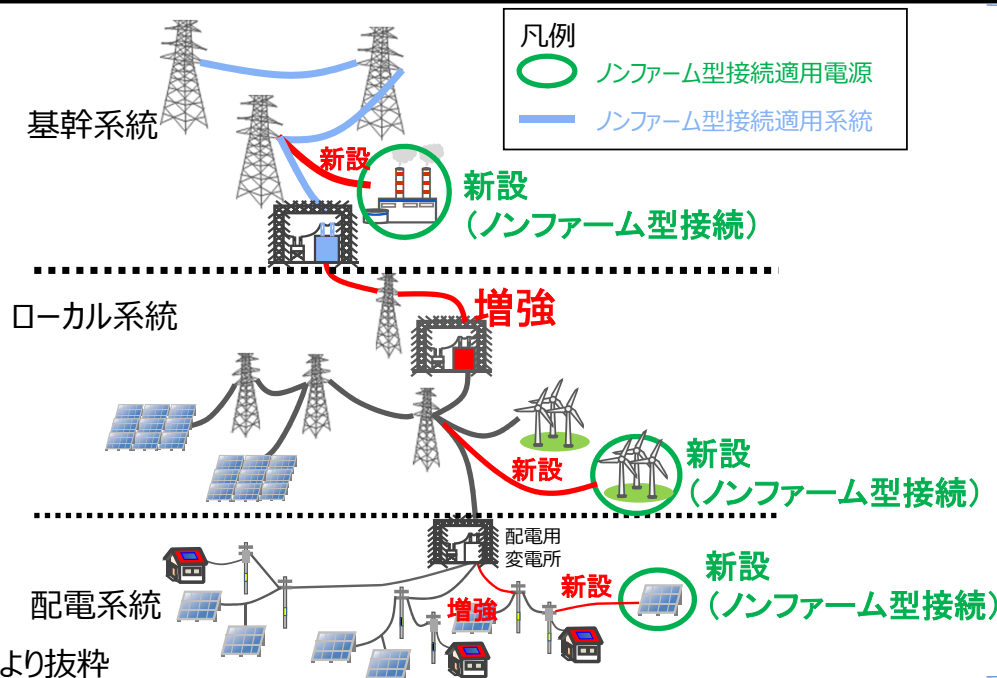
（出典）電力広域的運営推進機関ホームページより抜粋

※ 詳細は広域機関ホームページ(<https://www.occto.or.jp/keitorule-kaisetsu/index.html>)をご確認願います。

「ノンファーム型接続」について（参考）

【ノンファーム型接続が適用される系統と運用される電源】

- ・ノンファーム型接続は、空き容量の無い基幹系統に適用され、ノンファーム型接続が適用された空き容量の無い基幹系統をノンファーム型接続適用系統といいます。適用系統である基幹系統やその基幹系統と接続するローカル系統および配電系統に接続する電源は、原則ノンファーム型接続による接続となります。ノンファーム型接続適用系統になった以降に接続する電源をノンファーム型接続適用電源といいます
- ・基幹系統に対してノンファーム型接続となる場合でも、ローカル系統と配電系統の送配電設備の空き容量が不足する場合は、設備の増強工事が必要となります
- ・基幹系統は工事費が特に高額であり工期も長いことから増強を行わず、ノンファーム型接続が適用された電源を出力制御しますが、ローカル系統へのノンファーム型接続の適用についても現在検討中です



ノンファーム型接続
による接続が可能
となる範囲
(基幹系統～
配電系統)

(出典) 電力広域的運営推進機関ホームページより抜粋

※ 詳細は広域機関ホームページ(<https://www.occto.or.jp/keitorule-kaisetsu/index.html>) をご確認ください。